

特定テーマに関する研究

以下の4つのテーマ（部門）についての研究。全て最大3箇年までです。

① ひとつづくり部門

建設産業における人材確保のための魅力発信の手法検討及び効果検証について
(募集目的)

- 建設産業は、インフラ整備やメンテナンス等の担い手であり、災害時には最前線で地域社会の安全・安心の確保を担う地域の守り手であるが、建設産業の必要性・重要性についての県民の理解が十分ではなく、建設産業に関心を示す若者の減少が進み、担い手不足が深刻な課題となっています。
- このため、建設業や建設関連業の各団体と連携しながら、県民（特に未来を担う小中高生）へ建設産業の必要性や魅力を効果的に伝える手法（SNS等へのPR動画投稿、模型・クラフト、PRグッズ等を作成し、各種PRイベントで配布を行う等）を検討、実施し、その前後での建設産業へのイメージの変化、対象別の効果的な手法など検証を行うものです。

② 河川部門

「宮崎の良い川」をつくるための手法について
(募集目的)

- 河川内での土砂堆積や樹木繁茂による著しい洪水発生懸念が高まる中、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（2018年12月）に基づき、2018年から2020年度の3年間において、河道掘削や樹木伐採等の河川工事が増加していますが、河川環境に配慮した工事は引き続き求められています。
- 治水に必要な河道の面積を確保しながら、河川環境に配慮した工事手法の研究を行います。

③ 道路部門

橋梁点検におけるドローンの活用について
(募集目的)

- 近年の道路橋定期点検では、管理者が状況に応じた点検方法の工夫が可能になり、点検作業の効率化やコスト削減の観点からドローンの活用が求められています。
- 一方、ドローンを活用した点検においては、過年度の点検結果とドローンで撮影した画像を対比することで、変状やその進行性を適切に判断する手法の整理が必要となっています。

④ まちづくり部門

地域活性化のための景観・まちづくり整備について
(募集目的)

- 地域の素晴らしい景観を守り、創り出し、生かしながら「魅力ある地域づくり」に取り組むために、「美しい宮崎づくり推進条例（平成29年）」が制定されるなど、景観を活用した「活力ある地域社会の実現」が望まれています。
- 空き家を活用した地域コミュニティの整備など、市街地活性化のためのまちづくりについての研究を行います。